

山崎氏 眞面目な者は其襟を考へは持つて居ない、すれば不良分子が無くなるればよい、善い人達一般が自覚すれば其人達の休んで決行する事だ。

野呂氏 炭田も申す通り要求通り調印した者も脅かされて居た爲で實際の自覚がはいりぬ。

山崎氏 會社に迷惑なり損害をわけ一方眞面目な者は迷惑を及ぼして居るから一部ノ要求を尚容れろ事は突に不合理な話だ。

西牧氏 然し諸君の考へか其れは間違つてゐる、悪い者は此際場長を謝せねばならぬ、いふに殊と悪い人達の爲め盡力する事はなりはせぬか。

野呂氏 悪い者は首をたぶる。

西牧氏 まだ、ある。

管子氏 此處の問題はたゞ世間一般の事や社會問題を要するより團結の力が事の善悪より勝利を得る事になるから、いい。

菅田氏 會社は強いが吾々部下の窮状を見ろ、心がない。

管子氏 然し金政も職工の悪いと言ふ事を認めろ、や言ふ如く、悪を知りながら改むる勇氣がない、殊に最高幹部等か、そんな事を云つて居るの、なら、

竹内氏 一回二回と高三回四回と革正する為め、首切も断行する考へた、其れに加えて彼等の要求が不当であるから当然、さうしなければならぬと考へた、

野呂氏 會社側ではさうでせうか、是れが問題、起さぬから、一歩進んで考へると云ふ事は、謙歩を戴く、其れは何か、光明を現はして下さい、光明を認めないで、する事は、六了敷い、永引けは會社に不名誉なり、益々職工も困る、墮つて悪化すると思ひますから、一日も早く開門、さす事が肝要でありませう。

西牧氏 此度の問題より、最高幹部が非とするならば、今迄より再三、四反省を促した事だ。

野呂氏 全部が聞いて居る、爲め、困る、聞いた人達は、あれ等幹部のみで、其處に疎通を生ぜぬ、大事です、申訳がある、若し、若し、若し、自分達は、悔して居る、其辺は、推量下さい。